

## 第5回協議会（勉強会）の概要について

### 1 日時

平成26年10月29日（水）15:45～16:45

### 2 出席者

- 花山院弘匡委員長
- 佐藤進委員長職務代理
- 森本哲次委員
- 藤井宣夫委員
- 高本恭子委員

### 3 テーマ

「奈良県教育の基礎検討課題について」

### 4 協議内容

- 事務局が、奈良県教育の基礎検討課題である「学力・学習意欲の向上」「規範意識の醸成」「体力の向上」について、全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査のデータを分析し、考察を行った結果を報告した。
- 学力・学習意欲の向上について、委員から、「平均正答率が学力を示す指標とされているが、新しい学力観を踏まえた分析も必要ではないか。」「都道府県別の比較を見ると、地域性が大きく影響している。奈良県は二極化しているということだが、学習意欲、規範意識等すべての面で低位の状況にある子どもたちのサポートに取り組んでいかなければならない。」等の意見がでた。
- 規範意識の醸成について、委員から「規範意識が低下している背景には家庭の教育力の低下もある。」「規範意識は数値で測りにくいいためなかなか評価されにくい、真摯に取り組んでいかなければならない。」等の意見がでた。
- 体力の向上について、委員会から「体力の低下はバス通学等による運動量の低下と関連しているのではないか。学校では、業間に運動させる等意識的な取組が必要である。」という意見がでた。
- 最後に、「全体の分析結果から、課題や今後の方向性が確認できたので、各項目について取り組むべきことを具体化して、来年度からの施策に組み入れていくことが必要である。今後も取組の成果を確認しながら、データ分析を進め、来年度から開催される総合教育会議等様々な会議の場でも討議を深めて、奈良県の教育目標策定に生かしていくことが大切である。」ことを共通理解した。
- 次回は11月14日の予定で、「福井県の教育」について、現在本県より派遣している教員の報告をもとに、討議を行うことにする。